

年 度	平成27年度
工 事 番 号	第15000086号
工 事 名	中央処理区支線工事その7
変更後の工事場所	和歌山市葵町地内
変更後の工事概要	
変 更 の 理 由	<p>本工事施工にあたり、地下埋設物（ガス管）の移設工事する必要があり、大阪ガスと工程調整の協議した結果、ガス管の移設に当初予定していた以上の日数が必要となったため、工期内の完成が困難となりました。</p> <p>上記理由により、受注者から建設工事請負契約書第21条に基づく、工期延長請求書が提出されたので、建設工事請負契約書第23条の規定により延期理由の内容を確認した結果、工期延長が妥当であると認められたため、88日間（平成28年10月31日まで）工期の延長をいたしたい。</p>

年 度	平成27年度
工 事 番 号	第15000144号
工 事 名	中央処理区支線工事その1
変更後の工事場所	和歌山市鳴神地内
変更後の工事概要	<p>管渠工 小口径推進 管径350mm 鋼製さや管ホーリング(1重ケーシング)推進工 L=13.0m 立坑工 1式 地盤改良工 1式 管渠工 管径200mm PRP管布設工 L=394.0m マンホール工(組立1号:19箇所,小型:3箇所) 22箇所 取付管およびます工 31箇所 付 帯 工 1式 水道管移設工事 1式</p> <p>整備面積(分流・汚水) 1.81ha</p>
変 更 の 理 由	<p>本工事施工にあたり、590-1-1路線の取付管において、地権者との打合せにより、柵の設置が必要でなくなったため、取付管簡易推進(3→1箇所)の減工。</p>

年 度	平成27年度
工 事 番 号	第15000213号
工 事 名	海草橋島崎町線道路改良工事
変更後の工事場所	
変更後の工事概要	<ul style="list-style-type: none">・道路改良工 1式・撤去工 1式・復旧工 1式 工業用仮設配水管撤去工事 <ul style="list-style-type: none">・仮配撤去工 1式
変 更 の 理 由	<p>施工ヤードとして借地していた和歌川右岸の河川管理道（グリーンベルト）の復旧仕様について、施工時に再度協議を行った結果、大型重機の往来で損傷しており影響範囲内はカラーアスファルト（グリーン色）での舗装復旧に変更することとなった。これに伴い、数量が増工したため増額変更をいたしたい。</p> <p>また、和歌川右岸の復旧工事で県との協議に時間を要したため、平成28年8月31日までの31日間工期延長を行いたい。</p>

年 度	平成27年度
工 事 番 号	第15000331号
工 事 名	湊南第2排水区支線工事
変更後の工事場所	
変更後の工事概要	<p>φ900mmHP泥水式推進工 L=142.9m 組立マンホール(3号) 1箇所 付帯工 1式 水道管移設工 1式</p> <p>整備面積(分流・雨水) A=1.06ha</p>
変 更 の 理 由	<p>本工事区間は、地区住民の主要な出入り口となっているため、工事中の交通対策について着手前に地元説明会を開催しました。</p> <p>また、推進工のプラントヤードの確保のため、県ろう学校のフェンス移設工事が必要となり、これに不測の日数を要しました。</p>

年 度	平成27年度
工 事 番 号	第15000337号
工 事 名	太田第4公園便所整備工事
変更後の工事場所	
変更後の工事概要	<p>■ 太田第4公園便所整備工事 新築：鉄筋コンクリート造 平屋建て 13.50㎡ 解体：木造 平屋建て 10.00㎡</p> <ul style="list-style-type: none">・ 建築主体工事 . . . 一式・ 電気設備工事 . . . 一式・ 機械設備工事 . . . 一式
変 更 の 理 由	<p>便所基礎工事の支障となる既設外灯の電気地中埋設ケーブルの移設及び、構内舗装工事で土間の水勾配を確保するために既設電気ハットホルの嵩上げ等を行う必要が生じたため。</p>

年 度	平成27年度
工 事 番 号	第15000363号
工 事 名	西和中学校冷暖房設備工事その2
変更後の工事場所	
変更後の工事概要	機械設備工事 . . . 一式 電気設備工事 . . . 一式
変更の理由	教室内ドレン配管を当初天井内壁貫通で設計を行っていましたが、施工時貫通が困難である壁と判明し、配管経路を天井内壁貫通から、教室内窓貫通に変更したため増額が生じました。

様式第2号

(変更契約用)

年 度	平成28年度
工 事 番 号	第16000005号
工 事 名	道路修繕工事 東山東地区永山
変更後の工事場所	
変更後の工事概要	土工 舗装止め工 舗装工 1式 1式 384㎡
変 更 の 理 由	既設コンクリート舗装の取壊し形状に、設計値との差異があったため、取壊し数量を減工した。